

保土ヶ谷区民会議ニュース

やまびこ



編集 保土ヶ谷区民会議 広報委員会
 発行 第 21 期 保土ヶ谷区民会議
 事務局 〒240-0001
 横浜市保土ヶ谷区川辺町 2-9
 保土ヶ谷区 区政推進課広報相談係内
 TEL 334-6221 FAX 333-7945
 平成 27 年 7 月 15 日発行

第 21 期保土ヶ谷区民会議が新体制で発足

平成 27 年 4 月 25 日午後 2 時より第 21 期保土ヶ谷区民会議総会が、委員 75 名、相談役 1 名、行政から区長を含む 5 名の参加で開催されました。

代表に小林由美子委員、副代表に平本勉委員、東小蘭正富委員、宮司弘昭委員の 4 名を含む新運営委員 21 名が承認され、正式に発足しました。

【テーマ】 未来へつなぐ！ 人にやさしいまちづくり
 ～ すきです 保土ヶ谷 マイタウン ～

【活動方針】

第 21 期保土ヶ谷区民会議は、区民自身の手による区民のためのまちづくりの場として、区民の声を反映し、いつまでも住み続けたいまち ほどがやをめざし活動します。

- 1 区民会議の基本理念「広聴・提言・行動・発信」のもと、情報の収集・交換・共有を図り民主的な話し合いを通して行動・発信につなげ、活動を進めます。
- 2 区民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、区民、行政、連合町内会（自治会・町内会）や、各種団体と連携を密にして「顔と顔の見える関係」を大切に、地域のさまざまな課題の解決をめざし活動を進めます。
- 3 「地域のつどい」「区民のつどい」を開催し、身近な視点での区民の生の声を収集し重要課題については、行政に提言・要望して区政に反映していただきます。
- 4 区内で開催される各種委員会活動やイベントには積極的に参加し、行政との係わりを、より一層深めるとともに、区民会議の活動をアピールし区内における区民会議の認知度を更に高めていきます。
- 5 今期も前期に引き続き分科会・委員会で専門分野別に活動し、その成果は区民や関係団体に発信するとともに、キャンペーンの実施や冊子の発行などを行い、行政に係わる問題については提言をしてみたいです。

代表委員あいさつ



日頃より区民の皆さまには、保土ヶ谷区民会議の活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

また、昨年創立 40 周年記念事業におきましては、大変お世話になりました。

この度、上記のテーマ・活動方針を掲げ、第 21 期がスタートいたしました。

1974 年の発足以来、提唱・実践してまいりました「区民自身の手による区民のためのまちづくり」を、41 年目を迎えた今期も、基本である分科会・委員会活動、「地域のつどい」「区民のつどい」開催を通じ、誰もが安心して暮らせる「人にやさしいまち」実現へ向けて推進してまいります。

区民会議だからできること、区民会議でしかできないこと、自分たちの使命をしっかりと捉え、これからも区民の皆さまにとって必要とされる存在＝区民会議であり続けたいと考えます。

今後とも、皆さまのご支援・ご協力よろしく願いいたします。

保土ヶ谷区民会議代表委員 小林 由美子

保土ヶ谷区長あいさつ



第 21 期保土ヶ谷区民会議の発足、おめでとうございます。保土ヶ谷区民会議の皆さまには、日頃から区民の皆様と行政とを結ぶパイプ役として力を発揮していただき、心より感謝申し上げます。

今期も「地域のつどい」や「区民のつどい」、分科会の活動などを通じ、21 期のテーマである「人にやさしいまちづくり」を進めてくださることを期待しています。また、各種団体からの推薦や公募の方など 90 人という大勢の方が参加されていますが、それぞれの視点による活発な意見交換がなされ、皆様がいきいきと活動されることを願っております。

保土ヶ谷区長 菅井 忠彦

今年度の主な活動の紹介

◎分科会活動

第 21 期 保土ヶ谷区民会議の活動方針および実施計画のもと、4 分科会では次のようなテーマを設定し、活動してまいります。

環境分科会 テーマ 「未来につなごう 水・緑・資源」

前期活動実績のうち「品濃町産業廃棄物最終処分場」への取り組みにつきましては、平成 13 年より改善要請を行ってきましたが、平成 26 年 10 月末工事が完了いたしました。関係者の皆様へ感謝申し上げます。第 21 期の区民会議環境分科会委員は新委員 4 名、前委員 17 名の 21 名でスタートいたします。メインテーマは上記の通りですが、サブテーマとして「自然環境への取り組み」「ゴミ問題への取り組み」「エコ問題への取り組み」など 3 テーマに取り組むことにいたしました。具体的には横浜市中期 4 か年計画、区政運営方針等を参考にして、実践・啓発に向けた活動を行い、少しでも地域の皆様のお役に立てる活動を目指します。

教育分科会 テーマ 「あいさつと食育とおして ひとづくり」

第 21 期教育分科会では、前期に続いて「あいさつ運動」と「食育」を活動の柱とし、活動テーマを「あいさつと食育とおして ひとづくり」と決定しました。

「あいさつ」については、保土ヶ谷区もあらためて励行運動を進めるとの情報もあり、「子どもも大人も元気にあいさつを交わせる、地域でのあいさつの更なる浸透」に的を絞り、行政との協働による新たな推進活動も検討していきます。

「食育」に関しては、第 19 期小学生、第 20 期中学生の朝食・昼食事情の検証、学習から一歩進み大人も含んだ家族の「食育」を考えていきます。

「あいさつ」「食育」の様々な活動を通して「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に貢献できればと願っています。

交通・災害分科会 テーマ 「安全で快適な交通をめざして」/「災害に強いまちづくり」

当分科会は「交通」と「災害」の課題に取り組んでいます。

「交通分野」は安全で快適な交通をめざして、身近な問題と課題を洗い出し、地域の皆様方の意見を吸収して行政へ提言・要望していきます。

「災害分野」は第 19 期・第 20 期とも東日本大震災の経過を踏まえて、災害直後の初期対応について 2 冊の冊子を作成し、各自治会・町内会へ配布しました。第 21 期も災害に強いまちづくりのための課題を取り上げ、地域に発信していきます。

福祉分科会 テーマ 「学び 考え 発信する福祉分科会」

第 21 期福祉分科会は 31 名（新規 15 名、継続 16 名）でスタートしました。前期は「高齢者・障がい者の福祉について学び考える」をテーマに「元気なうちから介護予防」「伸ばそう健康寿命」を合言葉に学習。特にマスコミでも注目された『認知症』に対する知見を深め、認知症サポーター 22 名、キャラバンメイト 9 名が誕生。地元地域でも活躍するようになりました。今期は多彩な出身団体のメンバーで活動して参りますので、前期の継続課題（新オレンジプランの学習等）とともに行政と地域とのパイプ役として問題意識を持ち、区民の皆様の声を行政へ届けてまいります。また、行政の手の届きにくいところの福祉についても考え発信して行きたいと考えています。

◎自助・共助実践運動推進委員会

平成 25 年 4 月より 2 年間を目途に「20 万区民の自助・共助による減災運動」が区内全域で実施され、運動の周知・啓発・実践が推進されてきましたが、先般実施された「保土ヶ谷区 防災・地域福祉保健アンケート」の集計では「減災運動を知らない」が 74%と高く、まだまだこの運動の認知度が低いことが認識されました。この結果を受けて、本減災運動を更に 2 年間（平成 27～28 年度）継続して実施されることになりました。

区民会議としても本運動を提案した立場から、減災運動推進に対して全面的に支援・協力するとともに、今後も更なる実践・啓発方策を検討し、行政へ具申・提言してまいります。

広報委員会 広報委員会の主な活動を紹介します。

◎区民会議ニュース【やまびこ】の編集・発行

区民の皆様へ区民会議の活動内容についてお知らせし、ご理解とご支援をいただき、また、皆様の声を反映させた「行政への提案要望と回答」等は、自治会・町内会を通して回覧しています。

◎区民会議ホームページでも「地域のつどい」や「区民のつどい」等の情報は随時発信しています。

◎会報【やまびこ通信】の編集・発行

委員相互が情報を共有し共に学び合い連携を深め、活動の活性化を目指した情報紙として毎月発行しています。

◎区民会議ホームページ [保土ヶ谷区民会議](#) 検索 